

## ワクチンの注射について

新型コロナウイルス ワクチンの注射は、受けたい人だけ受けることができます。いい点と悪い点をよく考えて、注射をするかどうか決めてください。

\*いい点：新型コロナになりにくくなる、もしなってもあまり悪くならない、など。

悪い点：ワクチンの注射をしたあとで、体調が悪くなる人がときどきいる。

ワクチンの注射を受けるかどうかは、みなさんの自由です。

会社やあなたの近くににいる人に「ワクチンの注射を絶対にしてください」と言ったり、注射をしない人を悪く言ったりしないでください。

## ○いつからワクチンの注射ができますか？

ワクチンの注射は、2021年2月17日から2022年2月28日までの予定です。

最初に、病院などで働く人からします。それから、高齢者(お年寄り)や病気を持っている人にします。若い人や元気な人は、そのあとです。

高齢者(お年寄り)への注射は、4月12日から始まる予定です。今、準備をしています。注射ができる市や町は、少しずつ増えていきます。

## ○だれからワクチンの注射を受けることができますか？

新型コロナウイルス ワクチンの注射は16歳からできます。

ワクチンの注射は順番にしていきます。みなさん全員が受けることができますから、自分の順番が来るまで待ってください。

### ●新型コロナウイルス ワクチンの注射をする順番

次の1.~4.の順番でしていきます。

1. 病院などで働く人
2. 高齢者(お年寄り)【2021年1月から2022年3月に65歳になる人。1957年4月1日より前に生まれた人】
3. 基礎疾患を持っている人  
【例)呼吸器の病気、心臓の病気、腎臓の病気 など】  
高齢者(お年寄り)の世話をする仕事をしている人
4. そのほかの人

妊娠を考えている人(今から赤ちゃんをつくろうと思っている人)や妊娠している人(おなかの中に赤ちゃんがいる人)、授乳中の人(赤ちゃんに母乳をあげている人)、新型コロナウイルスになったことがある人も、ワクチンを受けることができます。

詳しく知りたい人は、[Q&A](#)(厚生労働省のホームページ)を見てください。日本語、英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語で情報を見ることができます。

## ○ワクチンの注射は、何回しなければなりませんか？

新型コロナウイルス ワクチンの注射は2回しなければなりません。

「ファイザー」という会社のワクチンは、1回目に注射をしてから、3週間あとで、2回目の注射をします。もし3週間あとで注射ができなかったときは、できるだけ早く注射を受けてください。

## ○どこでワクチンの注射を受けることができますか？

ワクチンの注射は、みなさんが住んでいる市や町の病院や、市役所や町役場が決めたところで受けます。

どこで受けることができるかは、住んでいる市や町の広報(市や町の毎月のお知らせ)やホームページなどで確認してください。

次のような人は、住所がある市や町でないところでも、ワクチンの注射を受けることができます。

- 住所がある市や町と違うところにある病院に入院している人
- 基礎疾患があって、いつも行っている病院でワクチンの注射を受ける人  
【例】呼吸器の病気、心臓の病気、腎臓の病気 など】
- いま住んでいるところが「住民票」と違う人

病院などで働いている人は、どこで受けることができるか、会社で聞いてください。

## ○ワクチンの注射のお金はありますか？

新型コロナウイルス ワクチンの注射は無料です。(お金を払わなくてもいいです)

ワクチンの注射の準備ができれば、みなさんが住んでいるところの市役所や町役場が「お知らせ」を送ります。

## ○ワクチンの注射を受けるための手続き(受けるための方法)

次の、(1)～(5)の順番に手続きをしてください。

(1) 市役所や町役場から、新型コロナウイルス ワクチンの「接種券」と「新型コロナ ワクチン接種のお知らせ」が来ます。

(2) 「お知らせ」を見て、いつワクチンの注射ができるか、確認してください。

(3) ワクチンの注射を受けることができる病院や接種会場(注射ができるところ)を探してください。

注射を受けることができる場所は、「[厚生労働省のホームページ](#)」を見てください。日本語、英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語で情報を見ることができます。

(4) 電話やインターネットで予約をしてください。

(5) ワクチンの注射は、①市役所や町役場から来た「接種券」と②「本人確認書類(運転免許証、健康保険証など)」が必要です。(①と②がなかったら、注射を受けることができません)

この2つを<sup>わす</sup>忘れないで、<sup>も</sup>持って<sup>い</sup>行ってください。

ワクチンの<sup>ちゅうしゃ</sup>注射は<sup>むりょう</sup>無料ですから、<sup>かね</sup>お金はいりません。